

「過去・現在・未来をつなぐ」

・六百回忌に思う

二世・傑堂能勝大和尚六百回忌大遠忌

六百年という長い時を越えて、教えが今の私たちまで届けられている。過去から現在へ。現在から未来へ。教えは、人から人へ受け継がれてきた。

・私たちの「今」

私たちの今の命も、自分一人で作ったものではない。

父母から、さらにその父母へ数えきれない命のつながりの中に、今の私たちの命がある。

過去からいただいた命を、私たちは今、生きている。だからこそ、「私は今日、どう生きるのか」を見つめることが大切。

・今をどう生きるか

過去を振り返る。ご先祖さまを思う。支えてくださった方々を思う。そこにあるのは、感謝。そして、「では、今の自分はどうか生きているだろうか」と、自分自身を見つめる。

人に優しくできているだろうか、感謝の気持ちを持っているだろうか、自分の都合だけで考えていないだろうか

今の一日が未来につながる。未来のことは、すべて分からない。だからこそ、今日一日を大切に生きる。

仏さまの教えを信じる。人を思いやる。感謝する。命を大切にする。小さな一日一日の積み重ねが、やがて未来へつながっていく。

・今日、心に留めたいこと

過去に感謝する。今の自分を見つめる。そして、その今を未来へつなげていく。

私たちもまた、長い歴史の大きなつながりの中にいる一人。

いただいた教えと命を大切にし、一日一日を歩んでまいりましょう。

令和八年九月二十四日

加茂法話会
寒河江文洋